

# 福祉サービス第三者評価事業 評価結果報告書

評価機関：一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

実施年度：令和6年度

施設種別：通所介護

施設名称：医療法人社団 静楓会  
みさごデイサービスセンター

## 香川県福祉サービス第三者評価の結果

### ◎ 第三者評価機関

名 称	一般社団法人 香川県福祉サービス評価機構
所在地	高松市塩上町二丁目1-24
評価調査者	① H23-Y014
	② H29-Y002

### 1 施設・事業所情報

#### (1) 施設・事業所概要

事業所名称：みさごデイサービスセンター (施設長) 池本 裕子	種別：通所介護
代表者氏名：理事長 森岡 敬介 (管理者) 施設長 池本 裕子	開設年月日：平成18年3月1日
設置主体：医療法人社団 静楓会	定員：30名 (利用人数) 約15名
所在地：〒769-2901 東かがわ市引田203番地1	
連絡先電話番号： 0879-23-8022	FAX番号： 0879-33-5616
ホームページアドレス	無

#### (2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事			
指定通所介護、日常生活支援総合事業	誕生日会、各種季節行事			
居室形態及び居室数	居室以外の施設設備の概要			
和室・洋室 計6室	施設：機能訓練室 (大、小各1)、介護用浴室 (個室、大浴場各1)、介護用トイレ、台所、リビングルームほか 設備等：リハビリテーション機器、食卓・椅子、テレビほか			
職員の配置	(常勤・非常勤は分けて記載すること) 常勤 計6名、非常勤 計4名			
	うち専門職種	常勤	非常勤	計
	介護福祉士	1 (兼務)		1 (兼務)
	准看護師	1 (兼務)	1	2 (兼務)
	社会福祉主事	1 (兼務)		1 (兼務)

## 2 理念・基本方針

人類とわずかな生き物だけに許された「老後」と言う時間。「老後」を生きる人々は社会に対してどのような役割を担っているのか、「老後」以外の人々にとってどのような存在意義があるのか。その答えを模索するなかで、社会の進化や人々の情操の育成にとっての「老後」の価値を見出していく。それは正に「老後」を生きる人々の誇りと自信つまり自己肯定感につながっていく。そこで、当施設では単に「命は大切」だからではなく、「価値ある存在」だからこそその奉仕に努める。

## 3 施設・事業所の特徴的な取組

- ・利用者一人ひとりの状態や意向に応じて、個別的で丁寧な支援を実施している。
- ・母体法人において診療所を運営しているため、利用者の体調変化時に迅速に医師の指示を受けることができる。
- ・施設の定員に対し利用人数が少ないため、利用者は施設内を広々と利用できるほか、職員とのコミュニケーションが図りやすい。

## 4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年4月18日（契約日）～ 令和6年10月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初受審

## 5 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◆特に評価の高い点

【利用者一人ひとりの状態や意向に応じて、個別的で丁寧な支援を実施している。】

職員は、定期的な研修や勉強会により福祉サービスの質の向上に努めているほか、利用者の心身の状態を把握するよう常に配慮しており、利用者一人ひとりの障害の程度に応じた支援はもちろんのこと、その時の心身の状態や意向を把握して柔軟に支援するよう心掛けている。利用者調査からも、職員の細かな気配りについて高く評価している様子が伺われた。広々とした綺麗な施設と丁寧な介護支援が受けられる環境は、利用者にとって高い満足度をもたらしている。

### ◆特に改善を求められる点

【施設を取り巻く環境や経営状況をふまえた、実効性の高い事業計画の策定がなされることを期待したい。】

事業の目的や運営方針は明確化されており、福祉サービスの提供に必要な文書やケアプラン、行事計画は策定されているものの、中・長期、単年度ともに事業運営について明記した「事業計画」は策定されていない。より安定した施設運営を継続するためにも、施設を取り巻く環境や経営状況をふまえた、実効性の高い事業計画の策定がなされることを期待したい。

6 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

聞き取り調査を受けたことにより、自分なりの気づきや着手すべきこと、今、できることに少しでも取り組めるよう努力していきたいと思っています。

7 評価分類別評価内容

<u>評価対象Ⅰ</u>	
1 理念・基本方針	理念・基本方針は、「事業の目的」「運営の方針」として明文化されている。今後は、分かりやすく説明した資料を作成する等、利用者や家族の周知に向けたより一層の取り組みに期待したい。
2 経営状況の把握	法人代表者が主体となって経営状況を把握・分析している。今後は、職員に対して周知する、職員も参画して施設を取り巻く環境や状況の把握に努める等、よりの確に把握・分析できるような体制が構築されることを期待したい。
3 事業計画の策定	運営規定やケアプラン等、福祉サービスの提供に必要な文書や計画は策定されているが、今後は、中・長期、単年度ともに策定されることを期待したい。
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	福祉サービスの質の向上のため、計画的に研修・勉強会を実施している。今後は、把握した課題の改善計画や第三者評価の活用等、より一層の取り組みに期待したい。
<u>評価対象Ⅱ</u>	
1 管理者の責任とリーダーシップ	施設長は、自らの役割と責任を明文化し、業務に必要な情報の収集や法令遵守に努めている。今後は、経営面を含めた事業運営においてもリーダーシップが発揮されるよう、さらなる取り組みに期待したい。
2 福祉人材の確保・育成	主に法人代表者が総合的な人事管理を行っている。今後は、「期待する職員像」を明確化する、職員が参画して人材確保・育成計画を策定する等、より実効性の高い福祉人材の確保・育成が行われることを期待したい。



<p>3 運営の透明性の確保</p>	<p>基本的な情報については、香川県や関係機関のホームページから確認することができる。今後は、パンフレットの配布やホームページの活用等、運営の透明性のための積極的な取り組みに期待したい。</p>
<p>4 地域との交流・地域貢献</p>	<p>今後は、かつて行われていた近隣の保育園や高校との交流に替わる、より良い方法を模索することにより、地域との積極的な交流が再開されることを期待したい。</p>
<p><b>評価対象Ⅲ</b></p>	
<p>1 利用者本位の福祉サービス</p>	<p>個別的で丁寧な支援を実施しており、利用者調査からも高い満足度が伺われた。しかし、苦情箱の活用や相談体制の周知等、さらなる改善の余地があることから、今後の取り組みに期待したい。</p>
<p>2 福祉サービスの質の確保</p>	<p>標準的な実施方法をマニュアル化し、研修や勉強会を通じて職員間で共通理解を図っている。アセスメントの実施やケアプランの策定においても、標準的な実施方法・体制が構築されている。</p>
<p><b>内容評価基準</b></p>	
<p>A-1 生活支援の基本と権利擁護</p>	<p>利用者本位の福祉サービスの提供を基本としている。利用者一人ひとりの意向を丁寧に確認し、利用者の心身の状態や意向に応じて、柔軟に支援するよう努めている。</p>
<p>A-2 環境の整備</p>	<p>施設内は全体的に清潔で明るい雰囲気保たれており、利用者がくつろいで過ごせる環境となっている。利用者調査からも、快適に施設で過ごせている様子が伺われた。</p>
<p>A-3 生活支援</p>	<p>利用者一人ひとりの障害の程度や心身の状態に応じた支援ができるよう、丁寧な生活支援を行っている。口腔ケアや今後想定される中程度以上の褥瘡予防についても、積極的な取り組みがなされることを期待したい。</p>

<p>A-4 家族等との連携</p>	<p>利用者の家族に対し、連絡ノートや電話・メール、送迎時や面談での口頭伝達等、複数の手段を用いて施設での支援の内容を報告している。今後は、家族支援の内容を記録する、家族の心身の状況に配慮した助言を行う等、より一層の取り組みに期待したい。</p>
<p>A-4 サービス提供体制</p>	<p>定期的な研修会・勉強会を実施し、福祉サービスの実施方法や手順等を職員に周知徹底しているほか、ケアマネージャーや主治医等の外部専門家の意見や助言を取り入れている。良質な福祉サービスを継続して提供できるよう、体制を構築している。</p>

8 別紙「第三者評価結果報告書（詳細）」のとおり

## 【別紙 第三者評価結果報告書(詳細)-共通評価項目】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。				
項 目		評価	コメント	
1	I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	理念・基本方針は、「事業の目的」「運営の方針」として明文化され、掲示・配布・口頭によって利用者に伝えている。今後は、分かりやすく説明した資料を作成する等、利用者家族への周知に向けたより積極的な取り組みに期待したい。

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
2	I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	法人代表者が主体となって把握・分析しているが、他の職員はその内容を十分に把握していない。今後は、施設を取り巻く環境や状況がより的確に把握・分析できるよう、施設全体で把握・分析する仕組みが構築されることを期待したい。
3	I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	法人代表者は経営課題を把握しているが、他の職員への周知が十分ではない。今後は、職員一人ひとりが主体的に経営課題の解決に向けて取り組めるよう、職員への積極的な周知や施設全体で課題の検討を行う等、さらなる取り組みに期待したい。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
4	I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	C	ケアプランや行事計画等、福祉サービスの提供に必要な計画は策定しているが、事業運営について明記した中・長期計画は策定していない。これからも安定した事業運営ができるよう、中・長期計画が策定されることを期待したい。
5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	C	行事計画や利用者向けの単日の計画は策定しているが、事業運営について明記した単年度の計画は策定していない。前項目同様、今後の取り組みに期待したい。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。				
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しを組織的に行われ、職員が理解している。	C	「事業計画」として策定している文書はない。今後は、安定的な事業運営や福祉サービスの質の向上のためにも、実効性の高い事業計画が策定されることを期待したい。
7	I-3-(2)-②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	C	福祉サービスの提供に必要な事項については、重要事項説明書を用いて利用者とその家族に丁寧に説明している。今後、事業計画を策定した際にも、そのような丁寧な説明がなされることを期待したい。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
8	I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	福祉サービスの質の向上を目的として、施設内の研修や勉強会を毎月実施している。今後は、福祉サービス第三者評価の定期的な受審や自己評価を年1回以上実施する等、福祉サービス第三者評価を活用したさらなる取り組みに期待したい。
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	日々の福祉サービスの提供によって把握された課題は、職員間で共有し、改善策を検討し実施している。今後は、改善計画を策定・実施することにより、福祉サービスの質の向上に向けたより効果的な取り組みがなされることを期待したい。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
10	II-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	施設長は、自らの役割と責任を明文化しているが、他の職員に向けた積極的な周知は行っていない。今後は、より質の高い福祉サービスを提供するためにも、他の職員に自らの役割や責任が周知されることを期待したい。
11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	施設長は、福祉サービスの提供に必要な情報を研修会や勉強会で収集し、遵守に努めている。今後は、労働や防災等の福祉分野に限らない法令についても積極的に情報を収集することにより、施設全体の法令遵守の意識がより高い水準となることを期待したい。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
12	II-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	提供する福祉サービスの内容について、職員会議や朝・夕礼の機会を有効に活用し、職員間の情報共有や改善策の検討・実施を行っている。施設長は指導力を発揮し、施設全体でより質の高い福祉サービスを提供できるよう努めている。
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	法人代表者が経営関係を管理しており、施設長の関与は少ない。今後は、より施設の現況を踏まえた実効性の高い経営の改善策が策定・実施できるよう、施設長の積極的な取り組みに期待したい。

### II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。				
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	必要に応じて福祉人材を確保することとしており、具体的な計画は策定していない。今後は、施設運営のさらなる安定化のためにも、福祉人材の確保・定着に関する計画の策定・実施を検討されるよう期待したい。
15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	c	人事管理は、法人代表者が主体的に行っている。今後は、施設の理念・基本方針の実現とより質の高い福祉サービスの提供のためにも、「期待する職員像」を明確化する、職員の処遇について検討する場を設ける等、施設全体での積極的な取り組みに期待したい。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	タイムカードを用いて職員の就業状況を把握しており、希望に沿って年次有給休暇が取得できるよう、職員の意向の把握に努めている。今後は、職員一人ひとりの心身の健康やワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくりができるよう、より一層の取り組みに期待したい。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	施設内で定期的に研修や勉強会を実施しているが、施設が期待する職員像の明確化や職員の育成のための面接は行っていない。今後は、期待する職員像を明確化する、教育・研修計画を策定する等、職員の育成に向けた取り組みに期待したい。
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	研修・勉強会について、毎年度末に職員の意向を聴取して次年度の計画を策定している。今後は、人材育成の基本方針や目標を明文化する、それを研修計画に明記する等、より効果的な福祉人材の育成がなされることを期待したい。
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	提供する福祉サービスのマニュアル化や定期的な研修会の実施、職員の水準に応じた個別的なOJTの実施等、職員一人ひとりの教育・研修の機会を十分に確保している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。				
20	II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	施設は、施設の立地や利用者の安全確保等の様々な要因により、福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に困難を感じている。今後は、実習生の受け入れ方針を明確化する、近隣の教育機関と連携を図る等、より地域に根差した施設運営がなされることを期待したい。

### II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。				
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	c	所在地や施設種別等の基本的な情報は、香川県や関係機関のホームページに掲載されている。今後は、施設自らが利用者の過ごし方や運営方針等を積極的に発信することにより、運営の透明性の確保に努められることを期待したい。
22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	財務状況については、会計事務所に一任し適正な経理処理ができるよう努めている。今後は、取引に関する規定や権限を文書化する、定期的な内部監査を実施する等、公正かつ透明性の高い経営・運営のためのより積極的な取り組みに期待したい。

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。				
23	II-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	施設の立地や利用者の安全確保の観点から地域交流に困難を感じている。しかし、かつては近隣の保育園や高校と交流したこともあったことから、再開する方法を模索しているとのことなので、今後の取り組みに期待したい。
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	ボランティアや地域交流に関する基本方針の明文化は行っていないが、より一層地域に根差した施設運営ができるよう、基本姿勢の明文化や受け入れ体制の構築等、今後の取り組みに期待したい。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。				
25	II-4-(2)-①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	福祉サービスの提供に必要な関係機関の機能や連絡方法を体系的に把握しており、利用者により良い福祉サービスを提供できるよう、市の担当部署に適宜連絡・相談している。今後は、関係機関とも協力して地域の福祉課題の解決にあたる等、さらなる取り組みに期待したい。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。				
26	II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c	地域の福祉需要を把握する機会の確保として、地域ケア会議の招集があれば積極的に参加しているが、その開催頻度は低い。今後は、地域住民との積極的な交流や関係機関との情報交換を行う等、より一層地域の福祉需要を把握するための取り組みがなされることを期待したい。
27	II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	特段の公益的な活動は行っていない。しかし、福祉に関する専門的な知識を有したうえで福祉サービスを実施するという公益性のある組織として、今後は、地域の福祉需要に応じられるよう、今後の取り組みに期待したい。

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
28	III-1-(1)-①	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	利用者本位の質の高い福祉サービスを提供できるよう、福祉サービスの標準的な実施方法を定め、定期的に勉強会や研修会を実施している。運営規定や重要事項説明書等の文書においても、利用者を尊重することを明記し、施設全体で共通の認識を持てるよう取り組んでいる。
29	III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	利用者が入浴や排泄、着替えを行う際は、カーテンを使用する、個別に対応する等、利用者のプライバシーが保護されるよう配慮している。個人情報に関する規程や方針についても、施設内の利用者が目にしやすい場所に掲示して利用者に周知している。
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。				
30	III-1-(2)-①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	要望があれば利用前の見学に応じており、利用開始時には、文書を用いて個別に丁寧に説明している。今後は、パンフレットを作成する、ホームページを活用する等、利用希望者が施設の特徴をより理解できるよう、さらなる取り組みに期待したい。
31	III-1-(2)-②	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	利用開始時や変更時は、契約書・重要事項説明書、個人情報保護について説明し、文書で同意を得ている。説明する際は、利用者や家族が理解しやすいよう、表現や口調に留意しながら丁寧に言うよう努めている。
32	III-1-(2)-③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	入院等により一時的に利用を中止した場合は、折に触れて担当者が様子を見守ることとしている。今後は、利用を終了した後も相談に応じられる旨についても周知されるよう、文書や体制の整備に積極的に取り組まれることを期待したい。
III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。				
33	III-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	日々の福祉サービスの実施によって利用者の満足を把握するよう努めており、課題があれば職員間で連携し解決にあたっている。今後は、アンケート調査の実施や利用者の家族からの聴き取り等、より良い福祉サービスが提供できるよう、積極的な取り組みに期待したい。
III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
34	III-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	職員は、日々の利用者とのかかわりを通じて、利用者の苦情を把握するよう努めている。今後は、苦情箱の活用や苦情解決の仕組みの周知によって、苦情解決の体制がより一層充実されることを期待したい。
35	III-1-(4)-②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b	職員は、利用者が意見や苦情を述べやすいよう、良好な関係の構築に努めている。施設内に苦情箱を設置しているが、利用実績は乏しい。今後は、苦情箱の設置場所の見直しや相談体制の周知等、利用者がより相談や意見を述べやすくなるようなさらなる取り組みに期待したい。



36	Ⅲ-1-(4)-③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	日々の福祉サービスの提供によって把握された課題は、職員会議や夕礼等の機会を活用して職員間で共有し、迅速に改善策を検討し実施している。改善策は、必要に応じて標準的な実施方法に反映させ、利用者が安心して施設を利用できるよう配慮している。
<b>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</b>				
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	感染症や誤嚥事故等それぞれの場面における危機を想定したマニュアルを整備し、研修会や勉強会を通じて対応方法の周知を行っている。ヒヤリハット等の事例を収集した場合は職員間で共有し、原因分析と改善策・再発防止策を作成している。
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	嘔吐物の処理や感染症対応等のマニュアルを整備しており、定期的なマニュアルの見直しや研修・勉強会を実施している。感染症の予防策が講じられ、発生時等緊急の利用者の安全確保について、組織として体制を整備し、取組を行っている。
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	通所施設のため、災害時は原則居宅に送り届けることとしている。今後は、安否確認の方法の検討や居宅への送迎が困難な場合を想定した備蓄の確保等、災害時の対応についてより一層検討されることを期待したい。

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

<b>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</b>				
40	Ⅲ-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	福祉サービスの実施方法は文書によってマニュアル化され、職員はそれに基づいて福祉サービスを実施している。マニュアルは、施設内での研修会において、福祉サービスの実施状況の確認に活用されている。
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	マニュアル化された福祉サービスの実施方法は、施設における研修会の都度、実態に即した適切な内容となっているか確認され、必要に応じて改定している。マニュアルの改定にあたっては、全職員が参画している。
<b>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</b>				
42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	ケアマネージャーが中心となって個別的なアセスメントを実施し、定められた方法によって利用者一人ひとりの状況や需要に応じたケアプランを策定している。職員は、各利用者のケアプランをもとに福祉サービスを実施し、その結果を次のケアプランの策定に生かすこととしている。
43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	ケアプランの策定時に中心となるケアマネージャーに定期的に実施状況を報告している。定期・緊急時ともに、一定の方法と手順によって、職員間で連携しながらケアプランの評価・見直しを行っている。
<b>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</b>				
44	Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	統一した書式を使用し、福祉サービスの実施状況を記録している。今後は、記録方法について指導する、要領を策定する等、記録する職員によって内容や記載方法に差異が生じないように配慮がなされることを期待したい。
45	Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	利用者に関する記録は、あらかじめ定められた場所に保管されている。個人情報の取り扱いや基本方針については、施設内の利用者が見やすい場所に掲示され、利用者が安心して施設を利用できるよう配慮されている。

## 【別紙 第三者評価結果報告書(詳細)-個別評価項目】

### A-1 生活支援の基本と権利擁護

【A-1-(1)生活支援の基本】				
項目		評価	コメント	
A1	A-1-(1)-①	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	a	利用者の一日の活動予定はあるものの、利用者の個々の状況や意向に応じて柔軟に対応することとしている。午睡の場所の配慮や季節的行事の実施等、利用者が心地よく過ごせるよう、施設全体で様々な配慮が行われている。
A2	A-1-(1)-①	利用者の心身の状況に合わせて自立した生活が営めるよう支援している。	a	利用者が自立した生活を営めるよう、鍵付きの個別ロッカーを設置し、利用者の貴重品の管理を適切に行っている。職員は、個々の利用者の状況に応じた言葉掛けや支援を行うことにより、利用者の自立への動機づけに努めている。
A3	A-1-(1)-①	利用者の心身の状況に応じた生活支援(生活相談等)を行っている。	b	入浴の空き時間にパズルや色塗りを提案する等、利用者の意向に応じて複数の活動ができるよう配慮している。今後は、行政手続の利用支援や社会参加への支援等においても、利用者の心身に応じたより一層の取り組みがなされることを期待したい。
A4	A-1-(1)-②	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a	職員は、利用者の個々の状況に応じて、積極的な声掛けや話しやすい話題の提供を行い、十分なコミュニケーションが図れるよう努めている。また、利用者のその時の思いや希望を汲み取った支援ができるよう、利用者の様子を観察し、傾聴することを心掛けている。
【A-1-(2)権利擁護】				
A5	A-1-(2)-①	利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	施設内の利用者が目にしやすい場所に掲示する、虐待予防のための研修を実施する、事案発生時の連絡系統を明確化する等、利用者の権利擁護について、様々な取り組みを実施している。

### A-2 環境の整備

【A-2-(1)利用者の快適性への配慮】				
A6	A-2-(1)-①	福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	a	施設は全体的に清潔で明るい雰囲気が保たれており、利用者がくつろいで過ごせる環境となっている。午睡の場所も、利用者の希望や状態に応じて入浴についても、利用者や家族に助言を行う、専門職員に報告・相談する等、適切な支援に努めている。

### A-3 生活支援

【A-3-(1)利用者の状況に応じた支援】				
A7	A-3-(1)-①	入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	利用者の状態に応じて、個人浴や複数浴を行っている。介護や見守りの職員を配置し、利用者が安全に入浴できるよう配慮している。家庭での入浴についても、利用者や家族に助言を行う、専門職員に報告・相談する等、適切な支援に努めている。
A8	A-3-(1)-②	排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	連絡ノートを活用して利用者の状態を把握し、個々の状態に応じた声掛けやおむつ交換を行っている。施設内では、特に利用者の転倒防止を心掛けているが、加えて、利用者の尊厳や羞恥心にも配慮した適切な排泄の支援ができるよう努めている。
A9	A-3-(1)-③	移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	移動支援にあたっては、心身や障害の状態だけでなく、利用者一人ひとりの気質や生活環境に応じた支援ができるよう、職員は利用者の様子をよく観察し、支援を行っている。
【A-3-(2)食生活】				
A10	A-3-(2)-①	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a	おかずは外注したものを盛り付けて提供し、主食や汁物、おやつは施設の手作りを提供している。利用者が美味しく、楽しく食べられるよう、提供方法や雰囲気作り、衛生管理に配慮して食事の提供を行っている。
A11	A-3-(2)-②	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	利用者の個々の咀嚼・嚥下能力に応じた介助を行う、身体の状態に応じて持ちやすい食器を使用する等、利用者一人ひとりの状況に応じた食事の提供と支援を行っている。
A12	A-3-(2)-③	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	b	可能な限り利用者が自分で食べられるよう、口腔機能の維持に配慮して食事支援を行っている。今後は、口腔状態や咀嚼・嚥下能力の定期確認、外部専門家の助言指導等、より実効性の高い口腔ケアについて検討されることを期待したい。
【A-3-(3)褥瘡発生予防・ケア】				
A13	A-3-(3)-①	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	b	利用者の褥瘡を発見した場合は、電話や書面で家族に報告する、円座クッションを利用する等、軽度のうちに迅速にケアするよう努めている。今後は、褥瘡ケアについて最新の情報を収集する、中～重度の対応方法についても検討する等、さらなる取り組みに期待したい。

【A-3-(4)介護職員等による喀痰吸引・経管栄養】			
A14	A-3-(4)-①	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	非該当
【A-3-(5)機能訓練、介護予防】			
A15	A-3-(5)-①	利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	b 日々の生活動作の中で機能訓練や介護予防活動を行うほか、関係職員が協議して、利用者の個々の状況に応じた計画的な訓練を行っている。今後は、自宅での介護予防活動について助言や情報提供を行う等、機能訓練・介護予防のさらなる取り組みに期待したい。
【A-3-(6)認知症ケア】			
A16	A-3-(6)-①	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a 利用者の日々の様子をよく観察して経過の把握や予防に努めているほか、利用者の状態に応じて家族と連絡を取るようしている。施設内で共通理解を図れるよう、研修を実施し、情報の収集・交換を行っている。
【A-3-(7)急変時の対応】			
A17	A-3-(7)-①	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a 利用者の体調変化や異変の兆候をいち早く発見できるよう、送迎時や昼食後等のあらかじめ定められた時間やその時の利用者の状態に応じて、適宜健康状態を確認している。異変が生じた場合は医療機関に連絡して指示を受け、それに従って対応している。
【A-3-(8)終末期の対応】			
A18	A-3-(8)-①	利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	非該当

#### A-4 家族等との連携

【A-4-(1)家族等との連携】			
A19	A-4-(1)-①	利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b 利用者の家族に対し、連絡ノートや電話・メール、送迎時や面談での口頭伝達等、複数の手段を用いて施設での支援の内容を報告している。今後は、家族支援の内容を記録する、家族の心身の状況に配慮した助言を行う等、より一層の取り組みに期待したい。

#### A-5 サービス提供体制

【A-5-(1)安定的・継続的なサービス提供体制】			
A20	A-5-(1)-①	安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	a 定期的な研修・勉強会を実施し、福祉サービスの実施方法や手順等を職員に周知徹底しているほか、ケアマネージャーや主治医等の外部専門家の意見や助言を取り入れている。福祉サービスを継続して提供できるよう、体制を構築している。